

様式第1の2（第1条の6関係）

① 危険物 仮貯蔵 承認申請書
仮取扱い

③ 殿		② 年 月 日	
④ 申請者		住所 (電話)	
氏名		氏名	
危険物の所有者、管理者又は占有者 ⑤	住所	電話 ()	
	氏名		
仮貯蔵・仮取扱いの場所	所在地・名称	⑥	
危険物の類、品名及び最大数量	⑦	指定数量の倍数	⑧ 倍
仮貯蔵・仮取扱いの方法	⑨		
仮貯蔵・仮取扱いの期間	⑩ 年 月 日から 年 月 日まで 日間		
管理の状況 (消火設備の設置状況を含む)	⑪		
現場管理責任者 ⑫	住所	緊急連絡先 ()	
	氏名	【危険物取扱者免状：有（種類： ）・無】	
仮貯蔵・仮取扱いの理由及び期間経過後の処理	⑬		
その他必要事項	⑭		
※ 受付欄	※ 経過欄	※ 手数料欄	
	承認年月日 承認番号		

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 法人にあつては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
 3 案内図、配置図、平面図、構造図その他関係書類を添付すること。
 4 ※印の欄は、記入しないこと。

【危険物仮貯蔵・仮取扱い承認申請書記載要領】

- ① 申請に係る区分以外を二重線で抹消するか、申請に係る区分を○で囲む。
- ② 申請日（申請書提出日）を記入する。
- ③ 松山市長と記入する。
- ④ 原則として指定数量以上の危険物を仮に貯蔵し、又は取り扱う者の住所、氏名及び電話番号を記入する。
申請者が法人の場合は、その名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地を記入する。
- ⑤ 危険物の所有者、管理者又は占有者の住所、氏名及び電話番号を記入する。
法人の場合は、その名称、代表者の氏名、主たる事務所の所在地及び電話番号記入する。
- ⑥ 指定数量以上の危険物を仮に貯蔵し、又は取り扱う所在地及び名称を記入する。
- ⑦ 消防法別表に定める危険物の類、品名、仮貯蔵又は仮取扱いをする最大数量を記入する。
- ⑧ ⑦の最大数量に対する指定数量の倍数を記入する。
- ⑨ 仮貯蔵又は仮取扱い方法の概要を記入する。
- ⑩ 仮貯蔵・仮取扱いの期間(10日以内に限る。)を記入する。
- ⑪ 警備の方法など管理状況や、設置する消火設備を記入する。
- ⑫ 現場管理責任者の住所、氏名、緊急連絡先及び危険物取扱者免状の有無を記入する。
免状有の場合は免状の種類を記入及び免状の写し（両面）を本申請書に添付する。
- ⑬ 仮貯蔵・仮取扱いの理由及び期間経過後の危険物や設備等の処理方法を記入する。
- ⑭ 所管課から指示された事項を記入する。